

日々初心

市長コラム・日々初心

市長●穂積 志



秋田市の福祉事業に役立ててほしいと、秋田市飲食店組合環同連合会からイベントの収益金の一部5万円を寄附していただきました(11月5日)

年の瀬の風景

いつの間にか街にはクリスマスソングが流れ、色鮮やかなイルミネーションとともに季節は一層にぎわいを増してきているように感じます。一方、初霜に初氷、初雪、そして本格的な冬将軍の到来と、自然は確実に冬への歩みを早め、私たちにもその覚悟を求めているようでもあります。

◆ それでは、今年のカレンダーをめくりながら、この1年特に印象に残った出来事を振り返ってみたいと思います。

まずは、まだ記憶に新しい秋田公立美術大学設置認可の件です。このことに関しては、全国の受験生は言うに及ばず、関係各位には大変ご心配をおかけしました。報道があつて以来、全国から温かい励ましの言葉をいただき、心より感謝を申し上げます。中でも、何よりもうれしく心強く感じたことは、市民、県民をはじめ議会や教育、芸術、行政に関わるみなさんから、新しい大学にかける大きな期待が寄せられたことです。これ



文部科学省の板東高等教育局長(左)から秋田公立美術大学の設置認可書を受け取る石井副市长(11月9日)

に応えるためにも、関係者一同、今一度気を引き締めて開学に向けた準備を進めているところです。

秋田市立工芸学校から秋田公立美術工芸短期大学にいたる60年の歴史を礎に、多くのかたのご尽力とご支援によって秋田公立美術大学が誕生します。桜が芽吹く来春4月には、陽光降りそそぐ中で記念すべき第一期生を受け入れたいと考えています。

7月には家庭系ごみの有料化が始まりました。それまでは賛否を問わずさまざまな議論がありましたが、実施後のごみの減少に加え、町内会と行政の協働やごみ集積所の整備、環境に対するさらなる関心の高まりといった副次的な

効果もありました。また、中通一丁目の「エリアなかいち」のオープン、8月にはロンドン五輪での江畑幸子、深瀬菜月両選手の活躍といった話題もありました。

“年の暮

流れて止まぬ町の川”

これは、秋田市出身の俳人・安藤和風の作品で、おそらく秋田の年の瀬の風景を詠んだものだと思います。4月に来秋した姉妹都市ドイツ・パッサウ市の独日協会ズイビレ・ラウシャール会長が、パッサウで刊行した文芸誌でこの句のドイツ語訳を紹介しています。

パッサウもドナウ川の流れが美しい都市ですが、年の押し詰まった気ぜわしい人の世と、ただ静かになものにも惑わされずに流れる川の風景との対比・対照に共感したのでしょうか。年末、川の流れに思うところは遠く離れていても変わらないのかも知れません。それではみなさん、よい年をお迎えください。

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。

「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>

秋田公立美術大学



東北で唯一の公立美術系4年制大学が開学 地域とつながり、新たな 価値観を世界に発信!

今年3月に設置認可を申請していた「秋田公立美術大学」が、11月8日付けで文部科学大臣に正式に認可されました。これにより東北で唯一の公立美術系4年制大学が、来年4月からいよいよスタートします。

新大学の4つの基本理念

新大学が掲げる基本理念は次の4つ。これらに基づいて、これまでにない特色を持った魅力的な大学をめざします。

- 新しい芸術領域を創造し、挑戦する大学
- 秋田の伝統・文化をいかし発展させる大学
- 秋田から世界へ発信するグローバル(国際的)な人材を育成する大学
- まちづくりに貢献し、地域社会とともに歩む大学

3年次以降は5つの専攻

新大学は、公立美術工芸短大がこれまで培ってきた教育や地域貢献の実績を発展的に継承します。1・2年次はさまざまな素材・技法を学び、3年次以降は5つの専攻に分かれてそれぞれの芸術表現を追求します。

◆3年次以降の専攻◆

● **アーツ&ルーツ**：地域の歴史的な文化資源を調査・研究し、それらを再評価していくなかで新しい芸術表現を探求します。

● **ビジュアルアーツ**：さまざまな素材や媒体を使い、現代美術の新しい方向性を探ります。

● **ものづくりデザイン**：ガラス、漆、彫金、陶芸、木工、染色、家具などを、現代デザインの視点でとらえ直し、地方色豊かな新製品を提案します。

● **コミュニケーションデザイン**：映像や画像、文字などのデザイン表現を幅広く学び、商品パッケージや広告などを総合的な視野で企画・制作します。

● **景観デザイン**：美しいまちなみや景観をとおして、快適さとにぎわいにあふれたまちづくりを企画・提案します。

一般選抜の定員は75人

来年度の入学定員は、一般選抜75人、推薦選抜25人の計100人です。センター試験利用の一般選抜の内訳は、前期日程40人(試験日▼2月25日(月)・26日(火))、中期日程35人(試験日▼3月8日(金))。出願期間は来年1月28日(月)から2月6日(水)までです。推薦選抜、社会人特別選抜、3年次編入学の募集は終了しました。入試について詳しくは大学設置準備室へお問い合わせください。

大学設置準備室 ☎(866)2028
ホームページ
<http://www.amcac.ac.jp/aua/>

“美短”から“美大”へ



地元新屋地区では横断幕で認可をお祝い

